

魅力ある大学生にもインタビュー

明日へ ジャンプ

特別編 No.198

サッカーで培った経験を生かし 憧れの救急救命士に

上武大学 ビジネス情報学部 3年 ^{ふじわら もな} 藤原 萌菜 さん



「将来は救急救命士になりたいと思っています」と将来の夢を話す藤原さんは、夢の実現のため国家資格取得に向けた勉強に励んでいます。そんな藤原さんに救急救命士を目指すそうと思ったきっかけを聞きました。

「高校生の時にサッカーの試合で脳振とうを起こし、救急車で運ばれたことがあるのですが、その時の救急救命士が女性でした。救急救命士は男性が多いと思っていたので女性の救急救命士を間近で見たことがきっかけです」
救急救命士コースの授業では座学に加えAEDや人工呼吸器の使い方などの実技を学んでいる藤原さん。勉学に励む傍ら、女子サッカー部に所属し、部活動にも意欲的に取り組んでいます。人命救助の声かけの方法を学ぶ中でサッカーとの共通点があると話してくれました。

「サッカーの試合中は、チームメートの特性を理解し、気持ちに寄り添ったコミュニケーションを心がけています。救急の現場でも、パニック状態の人や意識がもうろうとし

ている人など、さまざまな状態の傷病者への臨機応変な声かけが求められるため、サッカーで培った経験を生かしながら実技に励んでいます」
国家資格取得に向けた勉強と部活動とを両立し、どちらにも全力で取り組んでいる藤原さん。最後に大学生活での目標を聞きました。

「国家資格に合格することです。試験は4年生の時に一度しか受験することができないため、悔いが残らないよう頑張ります。部活動では、部としては関東大学女子サッカーリーグの2部に残ること、個人としてはチームの流れを変えることができる選手になることを目標に頑張りたいです」

プロフィール

ふじわら・もな
国家資格の取得に励む傍ら、公務員試験の勉強にも取り組んでいる。小さい頃から体を動かすことが好きで、休日にはジムでトレーニングに励んでいる。『THE RAMPAGE』のライブに行くことが息抜きになっていると話す。



6月27日(金)にいせさきFMで放送します

●午前7時54分～

●午後1時25分～

●午後5時50分～